

28堀小 〔図工〕専科 経営プラン

◆専科目標

- ◎自身の思いやひらめきを発揮し、つくりだす喜びを味わおうとする
- ◎材料や用具の使い方を覚え、自分なりの表現ができるようにする
- ◎身の回りの環境や造形物、自他の作品のよさを主体的に感受し、味わおうとする。

◆ 専科経営

（ 学校経営計画を受けて専科として重点にしていくこと ）

〔方 針〕

- ・ 教材開発や視覚的にとらえる提示の工夫を進め、児童の発想力や構成力を十分に発揮できるようにする。
- ・ 基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図る。
- ・ 造形活動を通して、身近な自然や自他の作品などから、よさや美しさを感じ取り、子どもたち同士がお互いの持ち味を気付きあえるようにする。

〔重点的な取組〕

- ・ 題材のねらいを明確にし、一人一人が題材のよさや可能性などに気付き、自分の感覚や活動をもとに学習できるような授業展開をする。
- ・ 一人一人が個性などのよさを発揮できるように、個に応じた指導の手立てを明確にする。
- ・ グループ活動や共同制作を通して仲のよい集団作りを支援する。

◆ 専科経営（ 特に大事にすること・配慮すること）

- ・ 全員が意欲的に取り組めるように、学習ルールの徹底指導を行う。
- ・ 児童一人一人がその題材のよさや可能性などの価値に気付くことができるような導入・展開を考え、指導や声かけを行う。
- ・ 発達段階や個性に見合った個別の活動とともに、相互に協力し合う共同制作を通して集団で工夫し合い達成し合う活動を重視する。
- ・ 年間カリキュラムでは、絵画・工作・彫塑・陶芸・版による課題・共同制作課題などを計画的に取り入れ行う。
- ・ 技能の確実な定着を目指し、特に木版画・木工作では、道具や工具の正しく安全な使い方の指導を徹底する。
- ・ 図工室で共有し合う道具など、様々な人が使うことを配慮した扱い方や片づけ方ができるようにする。
- ・ 教室内の整理整頓し安全管理に努め、児童が使用しやすいように置き場所を定め、児童による材料・用具の自己管理の習慣づけをする。
- ・ 教室や廊下などに作品掲示を積極的に行い、鑑賞教育の一環として自他の作品への関心を高める。